

一般社団法人 防災学術連携体

2021 年度総会・議事次第

日時：2021 年 8 月 6 日（金）13 時～15 時（総会終了次第、14 時頃より緊急連絡会※を開催予定）

場所：Zoom によるオンライン会議

■議事次第

1. 開会の辞
2. 議長選出
3. 議事

第 1 号議案：2020 年度貸借対照表及び正味財産増減計算書について

第 2 号議案：2021 年度事業計画について

第 3 号議案：2021 年度収支予算について

第 4 号議案：定款の一部変更（特別会員の議決権変更）について

4. その他

- ・2021 年度幹事の紹介
- ・新規会員の紹介
- ・第 3 回「防災に関する日本学術会議・学協会・府省庁の連絡会」報告
- ・防災推進国民大会（ぼうさいこくたい 2021）参加内容計画案
- ・入会申込書類について
- ・今後の取組みについて
- ・その他

※ 以上の総会終了後に、「令和 3 年 7 月 3 日熱海市の土砂災害に関する緊急連絡会」を開催する予定です。（14 時前後に開始する見込みです。）

■配付資料

- 資料 1-1 2020 年度事業報告（報告事項）
- 資料 1-2 第 1 号議案その 1 2020 年度貸借対照表
- 資料 1-3 第 1 号議案その 2 2020 年度正味財産増減計算書
- 資料 1-4 監査報告書

- 資料 2 第 2 号議案 2021 年度事業計画案
- 資料 3 第 3 号議案 2021 年度収支予算案
- 資料 4 第 4 号議案 定款の一部変更案
- 資料 5 JANET 幹事会名簿 2021 年 8 月
- 資料 6 新規入会者
- 資料 7 第 3 回「防災に関する日本学術会議・学協会・府省庁の連絡会」 **ポスター**
- 資料 8-1 防災学術連携体+日本学術会議：ぼうさいこくたい 2021 出展計画案
- 資料 8-2 ぼうさいこくたい 2021 出展公募案内

以上

一般社団法人 防災学術連携体

2020年度 事業報告

自 2021年3月8日
至 2021年6月30日

2021年度の事業について、(一社)防災学術連携体定款第4条(事業)の各事項に沿って、その内容を報告する。

(1) シンポジウムの開催等の防災に関する普及活動

1) 第12回防災学術連携シンポジウム

2021年11月6日、7日に開催予定の「防災推進国民大会2021」(主催:内閣府、防災推進協議会、防災推進国民会議)におけるシンポジウムとして、「防災教育と災害伝承」をテーマとした計画案を作成した。

(2) 各学会の取組み等を紹介する防災関連の学術総合ポータルサイトの運営

防災関連の学術総合ポータルサイトとしての防災学術連携体ウェブサイトを引き継ぎ、一般社団法人防災学術連携体のウェブサイトとしてリニューアルした。同時にパンフレット、名簿等のリニューアルも行った。

(3) 学協会等の連絡網の構築及び緊急事態における必要な活動

常時は学会間の連絡を緊密にして交流を促進するための手段として、災害などの緊急時には緊急連絡網として機能されることを目的としてつくられた、防災学術連携体の防災連携委員、各学会の事務局の名簿を引き継ぎ、一般社団法人防災学術連携体の防災連携委員、各学協会事務局の名簿にリニューアルした。

(4) 政府・自治体・関係機関等との交流の促進

内閣府の防災担当および日本学術会議事務局に一般社団法人防災学術連携体の設立を伝えるとともに、府省庁及び日本学術会議との交流促進に向けた連絡会について協議を行い、8月3日に「第3回 防災に関する日本学術会議・学協会・府省庁の連絡会」を開催する計画をまとめた。

内閣府防災担当が事務局を務める防災推進国民会議に継続して委員として参画する手続きを進めるとともに、防災推進国民大会2021の情報収集を行い、セッション参加の基本計画案を作成した。

(5) 学協会等の交流の推進及び総合的な視点をもった防災研究の推進

1) Web研究会の開催

会員学協会等の連携を深めることを目的に、各学協会等から順に関心テーマを決めていただき、防災連携委員・学識会員等を対象に、話題提供と質疑と討論を行うWeb研究会を

定期的に開催している。今期は以下の3回を開催・計画した。

第6回 Web 研究会「災害対応ロボットの現状と展望」:

2021年3月30日 日本ロボット学会担当

第7回 Web 研究会「NATECH: Natural Hazard Triggering Technological Disasters」

2021年5月27日 安全工学会担当

第8回 Web 研究会「防災・減災支援における地理情報システムの可能性」

2021年7月7日 地理情報システム学会担当

2) 会員学協会間の連携活動の推進

会員学協会間における分野横断的連携活動として、以下の共同セッション等を開催した。

- ・日本災害医学会：防災学術連携体共同セッション「今後の災害医療活動に生きる分野横断的最新知見」、2021年3月17日
- ・日本航空宇宙学会：防災学術連携体・連携企画「航空宇宙技術による防災・減災への挑戦」、2021年4月19日
- ・日本地球惑星科学連合：防災学術連携体連携セッション「変化する気候下での強風・豪雨災害にどう取り組むか」、2021年6月6日
- ・安全工学会：防災学術連携体・航空宇宙学会との連携オーガナイズドセッション、2021年7月2日（6月30日～7月2日に開催された安全工学シンポジウムにおいて）

3) データベースの更新と活用

防災学術連携体の各学会の防災関連委員会のデータベースの管理を継続した。

(6) 国際交流の推進及び世界の防災への貢献

防災学術連携体ウェブサイトにおける英文情報を引き継いだ。

(7) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

各種報道機関等への記者会見を、会場とオンラインでのハイブリッド方式で4月20日の11時～12時開催し、一般社団法人防災学術連携体の設立を伝え、活動内容を説明した。

第1号議案 その1

一般社団法人 防災学術連携体 貸借対照表

2021年6月30日 現在

(単位:円)

科目	2020年度
【資産の部】	
流動資産	833,502
現金預金	833,502
資産合計	833,502
【負債の部】	
負債合計	0
【正味財産の部】	
正味財産	833,502
現金預金	833,502
正味財産合計	833,502
負債及び正味財産合計	833,502

一般社団法人 防災学術連携体 正味財産増減計算書

自2021年3月8日 至2021年6月30日

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	0	0	0
賛助会員受取会費	0	0	0
寄付収入	1,686,214	0	1,686,214
寄付金収入	1,686,214	0	1,686,214
雑収益	0	0	0
受取利息	0	0	0
雑収益	0	0	0
経常収益計	1,686,214	0	1,686,214
(2) 経常費用			
事業費	590,410	0	590,410
資料・ポスター編集費	100,000	0	100,000
印刷製本費	0	0	0
ポータルサイト運営費	50,000	0	50,000
法人税・住民税及び事業税	5,800	0	5,800
法人設立費	343,030	0	343,030
会場設営費	90,530	0	90,530
通信費	1,050	0	1,050
雑費	0	0	0
管理費	262,302	0	262,302
人件費	160,000	0	160,000
旅費交通費	30,000	0	30,000
通信運搬費	12,302	0	12,302
事務局管理費	60,000	0	60,000
雑費	0	0	0
経常費用計	852,712	0	852,712
当期経常増減額	833,502	0	833,502
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	833,502	0	833,502
一般正味財産期首残高	0		0
一般正味財産期末残高	833,502	0	833,502
II 正味財産期末残高	833,502	0	833,502

監査報告書

一般社団法人 防災学術連携体

理事長 和田 章 殿

2020年度 2021年3月8日から2021年6月30日までの防災学術連携体
事業及び決算書に基づき関係書類、通帳、証拠書類を照合の結果、いずれも正確
かつ適正であることを認めます。

2021年6月30日

一般社団法人 防災学術連携体

監事 加藤 俊行



第2号議案
一般社団法人 防災学術連携体
2021年度 事業計画（案）

自 2021年7月1日
至 2022年6月30日

2021年度の事業計画について、（一社）防災学術連携体定款第4条（事業）の各事項に沿って、その内容を示す。

(1) シンポジウムの開催等の防災に関する普及活動

1) 第12回防災学術連携シンポジウム

「防災推進国民大会2021」（主催：内閣府、防災推進協議会、防災推進国民会議）に参加し、防災・減災に関連するシンポジウムを開催する（以下を予定）。

主催：日本学術会議 防災減災学術連携委員会・防災学術連携体（60学協会）

日時：令和3年11月6日（土）、7日（日）のうちの1セッション（90分間）

会場：岩手県釜石市の会場（オンラインで同時配信）

テーマ：「防災教育と災害伝承」

2) 第13回防災学術連携シンポジウム

日本学術会議 防災減災学術連携委員会と共催で、防災・減災に関連するシンポジウムを企画・実施する。開催時期は、1～3月頃を予定。なお、本シンポジウムは、大規模災害が発生した場合には、3)の報告会との調整をはかり再検討する。

3) 緊急災害調査報告会等

当該年度内に大規模災害が発生した場合、防災減災学術連携委員会と共催で、緊急報告会等を企画、実施する。

(2) 各学会の取組み等を紹介する防災関連の学術総合ポータルサイトの運営

防災学術連携体ウェブサイトについては、防災関連の学術総合ポータルサイトとして利用されることを目的として、ホームページには参加学協会からのお知らせ、行事案内を集約、随時更新する。また、ホームページ上の各サイト「概要と参加学会」、「Activities Introduction」、「各学会の防災関連委員会紹介」、「常時の交流・連携と災害時の緊急連絡網」、「近年の自然災害に関する情報」、「学術フォーラム、公開シンポジウム」、「Web研究会」、「Webcast」、「声明・報告等」、「学会出版物・メディア掲載情報」、「国内外のお知らせ」、「国際協力・学会連携」「防災推進国民会議、日本学術会議（防災関連）」、「賛助会員」「防災連携委員のページ」において、より一層内容の充実を図る。

(3) 学協会等の連絡網の構築及び緊急事態における必要な活動

常時は、学会間の連絡を緊密にするとともに、交流を促進するための手段として、災害などの緊急時には緊急連絡網として機能させることを目的として、防災連携委員、各学協会の事務局の名簿の更新を継続する。

またホームページに、災害情報に関する特設ページを設けて、災害発生時等には情報を収集して、会員間および一般に展開し情報の共有を図ることとする。

(4) 政府・自治体・関係機関等との交流の促進

8月3日に、「第3回 防災に関する日本学術会議・学協会・府省庁の連絡会」をオンラインにて開催する。本連絡会は、防災に関する日本学術会議、府省庁との平常時の連絡の場として開催するもので、日本学術会議防災減災学術連携委員会、内閣府防災担当をはじめ府省庁の防災関係者が出席し、防災学術連携体会員の学協会・学識会員と情報・意見交換を行う。

内閣府防災担当が事務局を務める防災推進国民会議に委員として参画するとともに、防災推進国民大会 2021 に積極的に参加する。

(5) 学協会等の交流の推進及び総合的な視点をもった防災研究の推進

1) Web 研究会の開催

会員学協会等の連携を深めることを目的に、各学協会等から順に関心テーマを決めていただき、防災連携委員・学識会員等を対象に、話題提供と質疑と討論を行う Web 研究会を定期的に開催する。

2) 会員学協会間の連携活動の推進

会員学協会における他学協会との共同セッションの開催など、分野を越えた連携活動を積極的に推進する。

3) データベースの更新と活用

各学協会の防災関連委員会のデータベースについて、随時内容の更新を行い、常に最新の情報が閲覧できるようにする。学協会間の交流を進める手段の一つとするとともに、市民や自治体などが各学協会やその委員会、またはこれらが発信する情報へのアクセスを容易にすることを目的とする。

(6) 国際交流の推進及び世界の防災への貢献

防災学術連携体ウェブサイトにおいて、英文情報の更新を行い、海外に対する情報発信手段とする。また、防災学術連携体を構成する学協会、防災連携委員、学識会員などを通じて、防災学術連携体の活動成果を海外に発信、世界の防災への寄与を図る。

(7) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

防災学術連携体設立の社会に対する広報に資するために、各種報道機関からの取材申し込みに対して積極的に対応する。メディア掲載情報は、防災学術連携体ウェブサイトにとりまとめ、掲載する。

第3号議案

一般社団法人 防災学術連携体 2021年度 収支予算 (案)

(自2021年7月1日 ～至2022年6月30日)

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
会費収入	1,995,000	0	1,995,000	
会費収入	0	0	0	
賛助会員会費収入	0	0	0	
事業収入	0	0	0	
寄付金収入	0	0	0	
寄付金収入	0	1,686,214	-1,686,214	
雑収入	0	0	0	
受取利息	0	0	0	
雑収入	0	0	0	
前期繰越	833,502	0	833,502	
事業活動収入計	2,828,502	1,686,214	1,142,288	
2. 事業活動支出				
事業費支出				
編集費	300,000	150,000	150,000	資料編集・ポスター作成
印刷	176,000	0	176,000	
リモート会議システム利用費	40,000	0	40,000	
ポータルサイト運営費	50,000	100,000	-50,000	WEBサイト運営
通信費	30,000	0	30,000	
法人設立費	0	340,000	-340,000	
会場設営費	195,000	0	195,000	
雑費	10,000	30,000	-20,000	
管理費支出			0	
人件費	650,000	150,000	500,000	
租税公課	70,000	0	70,000	法人都民税
旅費交通費	170,000	50,000	120,000	事務局交通費
通信費	54,000	13,500	40,500	
事務局管理費	240,000	60,000	180,000	
雑費	10,000	20,000	-10,000	
事業活動支出計	1,995,000	913,500	1,081,500	
当期収支差額	833,502	772,714	60,788	
次期繰越収支差額	833,502	772,714	60,788	

第4号議案

(一社) 防災学術連携体

定款の一部変更について：特別会員の議決権変更

定款第12条第3項の議決権について以下のように改定する。

(改定前)

「第12条3項：総会における議決権は、正会員及び特別会員につき各6個とし、学識会員につき各1個とする。」

(改定後)

「第12条3項：総会における議決権は、正会員につき各6個とし、学識会員および特別会員につき各1個とする。」

代表幹事： 大友康裕（日本災害医学会）

代表幹事： 米田雅子（学識会員）

副代表幹事： 森本章倫（日本都市計画学会）

副代表幹事： 目黒公郎（学識会員）

運営幹事： 和田 章（学識会員）

新任 幹事： 渦岡良介（地盤工学会）

新任 幹事： 小松利光（学識会員）

幹事： 田村和夫（学識会員）

幹事： 塚田幸広（土木学会）

幹事： 永野正行（学識会員）

幹事： 橋田俊彦（日本気象学会）

新任 幹事： 松島信一（日本地震学会）

新任 幹事： 松野文俊（日本ロボット学会）

新任 幹事： 山本あい子（学識会員）

幹事： 山本佳世子（地理情報システム学会）

新任 幹事： 吉田俊子（日本看護系学会協議会）

新規入会者
(2021年4月～6月に入会)

学識会員

若尾政希 (日本学術会議 会員)
畝本恭子 (日本学術会議 連携会員)
菊地 優 (日本学術会議 連携会員)
齋藤大樹 (日本学術会議 連携会員)
竹内 徹 (日本学術会議 連携会員)
吉原直樹 (日本学術会議 連携会員)

特別会員

一般社団法人 日本免震構造協会

日本学術会議 防災減災学術連携委員会 (防災学術連携体との連携開催)

第3回「防災に関する日本学術会議・学協会・府省庁の連絡会」

激化する気象災害への備え

日時 2021年8月3日(火) 13:00~16:00

会場: 日本学術会議よりオンライン開催(zoom)

地球温暖化の影響などで気象現象は近年激化しており、今後もその傾向は続くと予想されています。従来の想定よりも激しい豪雨・暴風や高潮などの気象外乱に対して、どう備えれば良いのかを考えるため、関係府省庁と関係学会との情報交換を行います。政府と学会との今後の連携のあり方も議論します。

プログラム

13:00 開会・趣旨説明
挨拶
出席者の紹介
防災減災学術連携委員会委員長 米田雅子
内閣府 防災担当政策統括官 榎 真一

13:15 「激化する気象災害への備え」に関する政策について (各 15 分)
流域治水関連法について (総論)
国土交通省 水管理・国土保全局河川計画課 課長 佐藤寿延
流域治水関連法について (まちづくりの観点から)
国土交通省 都市局 都市計画課 課長 堤 洋介
災害対策基本法改正について (避難情報の見直し、広域避難)
内閣府 政策統括官 (防災担当) 付参事官 (調査・企画担当) 付企画官 高畑栄治
災害対策基本法改正について (要支援者の避難について)
内閣府 政策統括官 (防災担当) 付参事官 (避難生活担当) 重永将志

14:15 <休憩>

14:25 「激化する気象災害への備え」に関する学会の活動について (各 15 分)
日本気象学会 日本気象学会の気象防災への取り組み:
気象災害委員会活動と航空機観測を例として 坪木和久 (名古屋大学)
土木学会 SIP 国家レジリエンス (防災・減災) の強化
一市町村災害対応統合システムについて一 塚原健一 (九州大学)
日本都市計画学会 都市計画学会としての取組みと都市計画分野の論点
加藤孝明 (東京大学)
日本災害医学会 医療機関における水害時の対策に向けて
～『医療継続』も視野に入れた事前避難を～ 高橋礼子 (愛知医科大学)

15:25 全体意見交換

15:55 閉会挨拶
防災学術連携体代表幹事 大友康裕

防災学術連携体の防災連携委員、学識会員の方でご出席される方は、下記よりご連絡をお願いします。

<https://ws.formzu.net/fgen/S16396674/>

問合せ先: 一般社団法人 防災学術連携体
〒113-0023 東京都文京区向丘1-5-4 ワイヒルズ2階
電話: 03-3830-0188 ファックス: 03-5876-8463 mail: info@janet-dr.com

防災学術連携体 正会員

安全工学会
横断型基幹科学技術研究団体連合
環境システム計測制御学会
空気調和・衛生工学会
計測自動制御学会
こども環境学会
砂防学会
水文・水資源学会
石油学会
ダム工学会
地盤工学会
地域安全学会
地理情報システム学会
土木学会
日本安全教育学会
日本応用地質学会
日本海洋学会
日本火災学会
日本火山学会
日本風工学会
日本活断層学会
日本看護系学会協議会
日本機械学会
日本危機管理防災学会
日本気象学会
日本救急医学会
日本計画行政学会
日本建築学会
日本原子力学会
日本航空宇宙学会
日本公衆衛生学会
日本古生物学会
日本コンクリート工学会
日本災害医学会
日本災害看護学会
日本災害情報学会
日本災害復興学会
日本自然災害学会
日本社会学会
日本森林学会
日本地震学会
日本地震工学会
日本地すべり学会
日本造園学会
日本第四紀学会
日本地域経済学会
日本地球惑星科学連合 (JpGU)
日本地形学連合
日本地質学会
日本地図学会
日本地理学会
日本都市計画学会
日本水環境学会
日本リモートセンシング学会
日本緑化学会
日本ロボット学会
農業農村工学会
農村計画学会
廃棄物資源循環学会

防災学術連携体 特別会員

日本免震構造協会

防災学術連携体＋日本学術会議：ぼうさいこくたい2021 出展計画案

年度の防災推進国民大会（11月6日、7日開催予定）について、出展者公募案内（7月8日版）が出された（出展申込締切：8月6日まで、出展者決定連絡：8月31日17時まで）。今年の全体テーマが「～震災から10年～ つながりが創る復興と防災力」であること、開催地が岩手県釜石市であることを踏まえて、以下のシンポジウムを計画してセッション（90分間）に応募したい。

出展パターンとしては、[オンライン配信による方法](#)を希望する。ただし、詳細は8月31日までに出展者決定後に事務局と打ち合わせて設定することになる。

出展するシンポジウムの概要は以下とする。

■テーマ：「防災教育と災害伝承」

■趣旨：

2011年東北地方太平洋沖地震により引き起こされた未曾有の大災害：東日本大震災発災から十年が経過した。発災の直後の被災対応から始まり、多くの課題を抱えつつ、復旧、復興に向けた様々な活動が進められてきている。津波による被害、地震の揺れによる被害、原子力事故などに起因する様々な災害が生じ、被災地や周辺地域での社会生活に大きな困難を及ぼしている。今後引き続き復興に向けた取組みを継続していくのと同時に、この多くの犠牲を受けた災害から得た貴重な教訓を、東北と日本の今後の安全な社会実現のために活かしていく必要がある。一方、防災・減災に関わる学術分野においても、広域に生じた実に多様な被害実態とその分析から得られた新しい知見を、社会に展開していく責任がある。

災害軽減のためには、ハードからソフトの日頃の備えが重要であり、防災の実効性を高めるためには、過去の教訓を踏まえた上で、まず災害発生の本質をお年寄りから子供までが理解し、被災時の対応法も含めた日頃の備えをしておくことが極めて重要である。そのためには、学校や社会における正しい防災教育と、その基となる災害そのもの、災害から得られた教訓を記録に残し、後世にきちんと伝えていくことが必要である。

本シンポジウムでは、東日本大震災後の10年間の経験と教訓を踏まえ、今後の防災教育と災害伝承のあり方、および進めるべき取組みについて、学術分野から発信する。

■プログラム概略案（90分間）

1. 挨拶・趣旨説明
2. 災害伝承に関する講演（釜石市：依頼予定）
3. 各学協会からの講演（内容：東日本大震災を振り返る、東日本大震災の教訓と伝承に向けた取組み、防災教育のあり方（学校・社会・専門家）、などに関連した、各学協会やグループの取組み報告など。人文社会系の学協会からの多くの発表を期待する。

※ 5～10グループ程度を想定：

⇒ 各学協会からの応募状況に応じて、プログラム構成・時間配分等は調整する。

4. ディスカッション（講演者、会場・WEBによる参加者）
5. まとめ

※ 講演と各学会からの発表の内容は、資料として（極力事前に）公開する。

ぼうさい こくたい

2021

—いわて釜石から—



いわて・かまいし
防災復興フェスタ
も同時開催

11/5(金)は
津波防災の日
世界津波の日
イベント開催

～震災から**10**年～ つながりが創る復興と防災力

11/6(土)
10:00-18:00

11/7(日)
10:00-15:30

主催：防災推進国民大会 2021 実行委員会 協力：岩手県、釜石市

ぼうさいこくたい2021 出展公募案内

7/8版

～震災から10年～

つながりが創る復興と防災力

東日本大震災津波から10年が経過しました。震災で大きな被害を受けた岩手県は、防潮堤や道路の整備、街の復興はもとより、個々の防災意識の向上、復興の担い手の育成、そして、個人、団体など多様な主体がつながる場を設けるなど、ハード、ソフトの両面から、「Build Back Better（より良い復興）」を理念に、あらゆる主体が「つながり」ながら、復興に着実に取り組まれています。

防災力を高めるためには、行政による「公助」、国民一人ひとりが自ら取り組む「自助」、地域、企業、学校、ボランティアなどが互いに助け合う「共助」を適切に組み合わせる、すなわち、これらが「つながる」ことが重要です。さらに、災害時に命を守るためには、官民の様々な主体が連携し、それぞれの力が「つながる」ことが必要です。

また、岩手県をはじめとする東北の被災地では、経験者による語り部活動、震災伝承施設への訪問活動、震災を踏まえた防災教育の実践など、震災の記憶を風化させることなく語り継ぎ、防災意識を高める、そして、次の世代へ「つなげる」活動を積極的に行っており、これらの取組をより多くの方々に広げていくことが重要です。

こうした考えから、今大会は「つながりが創る復興と防災力」をテーマに、東日本大震災からの10年を振り返るとともに、これからの復興と防災のあり方を考え、震災の経験と教訓を多くの方々へ、そして、未来へ「つなげる機会」にしたいと考えました。

みなさん一人一人が、あらためて震災と向き合うことで、わが国全体の防災力の向上につながる場となるよう、防災推進国民大会2021（ぼうさいこくたい2021）を開催いたします。

開催地（岩手県釜石市）の選定理由

○東日本大震災から10年を経て復興した三陸の姿と地域で高められた防災力を発信

岩手県三陸地域では、暮らしの再建やなりわいの再生に加え、復興道路や復興支援道路の整備が進められており、震災の風化防止や防災意識の向上等を目的に三陸防災復興プロジェクト2019を実施するなど、地域、行政が一体となってハード、ソフトの両面から、地域防災力の向上に取り組んでいます。復興した三陸の姿と地域で高められた防災力を全国民にメッセージとして発信するために、非常に重要な機会となります。

○多くの震災伝承施設から、震災の経験・教訓を国内外へ発信

岩手県三陸沿岸地域は、明治29年、昭和8年の三陸大津波、昭和35年のチリ津波、そして、平成23年の東日本大震災津波と過去の津波被害を教訓に、東日本大震災津波伝承館「いわてTSUNAMIメモリアル」（陸前高田市）や「いのちをつなぐ未来館」（釜石市）など多くの津波伝承施設を有し、津波防災を学ぶ環境が整備され、学ぶべき教材も多く有しています。

○岩手県が実践する防災教育を全国へ発信

岩手県では、東日本大震災津波での津波災害から学んだ教訓を学校教育の中に生かし、未来を創造していくために、郷土を愛し、その復興・発展を支える人材を育成するために、各学校の教育活動を通じて、3つの教育的価値（いきる、かかわる、そなえる）を育てることを、「いわての復興教育」として位置づけ、県の教育の根幹に据えて、力強く生きていく子どもたちの育成を図っています。

○津波防災の日・世界津波の日（11/5）と合わせた、津波防災の重要性を国内外に啓発

本大会の重要なテーマである津波防災について、「津波防災の日」の啓発イベントと一体的に実施することで相乗効果が生まれ、国内外への発信力を高めます。

※11月5日（金）にはプレイベントとして、地方自治体職員や一般向けに「津波防災の日スペシャルイベント」を開催予定

- 名称 防災推進国民大会2021（愛称：ぼうさいこくたい2021～いわて釜石から）
- テーマ案 ～震災から10年～ つながりが創る復興と防災力
- 主催 防災推進国民大会実行委員会（内閣府・防災推進協議会・防災推進国民会議）
- 協力 岩手県、釜石市
- 開催日時 2021年11月6日（土）10:00～18:00 *屋外展示の一部は16:00まで
11月7日（日）10:00～15:30
- 開催会場 釜石市民ホール TETTO、釜石情報交流センター、ホテルサンルート釜石及びその周辺
- 対象者 防災に関心のある方、学びたい方
- 併催事業 岩手県、釜石市主催の「いわて・かまいし防災復興フェスタ」を本大会にあわせて実施
- 入場料 無料
- ウェブサイト <http://bosai-kokutai.jp/>
- 出展予定数 テーマセッション（24枠程度）
ワークショップ（30枠程度）
プレゼンブース（50枠程度）
屋外展示（25枠程度）

ぼうさいこくたい



開催形式は現地出展とオンライン配信（出展内容をオンラインで配信）のハイブリッド形式とします。出展者様は出展パターンを選択いただけます。*申込多数の場合などご希望に沿えない場合があります

パターン1 現地出展

従来形式の会場での出展のみのパターン

- セッション
- ワークショップ
- プレゼンブース
- 屋外展示



パターン2 オンライン配信

セッション

【セッション、ワークショップ】

現地出展せずに出展者様が会場外で独自に開催する動画プラットフォームでのセッションや、ZOOM等の会議ソフトを活用したワークショップを大会出展プログラムとして、事務局が大会ホームページで案内と配信先へのリンク設置を行います。セッションにおける動画プラットフォームの手配や、ワークショップにおける参加者受付や質問対応、備品送付、当日進行等、配信に係る一切の作業は、出展者様にお願いします。

ワークショップ



プレゼンブース

【プレゼンブース、屋外展示】

出展者様が用意する動画、画像、活動紹介文等を大会ホームページで紹介します。なお動画は出展者様にYouTubeへアップロードしていただき、事務局が大会ホームページにリンクを設置します。

屋外展示

パターン3 現地出展とオンライン配信を同時展開

セッション

【セッション、ワークショップ】

会場に出展し、且つその模様をオンライン配信するパターン。事務局が大会ホームページで案内と配信先へのリンク設置を行います。セッションにおける動画プラットフォームの手配や、ワークショップにおける参加者受付や質問対応、備品送付、当日進行等、配信に係る一切の作業は、出展者様にお願いします。

ワークショップ



プレゼンブース

【プレゼンブース、屋外展示】

出展者様が用意する動画、画像、活動紹介文等を大会ホームページで紹介します。なお動画は出展者様にYouTubeへアップロードしていただき、事務局が大会ホームページにリンクを設置します。

屋外展示

オンライン配信に当たっての費用負担について

現地出展に当たっての出展料と次ページにある無償提供品は無料となります。オンライン配信当たっての配信に係る一切の費用は出展者様のご負担となります。なお配信作業は有料オプションで事務局が業務代行することもできます。

開催形式の変更

新型コロナウイルス感染症の状況によっては、開催形式がハイブリッド形式からオンライン配信のみに変更する可能性があります。変更する場合は、¹本会ホームページでお知らせします。

本大会は以下の4つのタイプの中から現地出展方法を選択できます

- 出展には審査があります
- 出展会場や実施時間は主催者側で決定させていただきます
- 集客は出展団体をお願いしております

*以下に記載の仕様は予定のため変更になる場合があります

1 : セッション (24枠程度)

講演やパネルディスカッションを行うタイプ

*2以上のセクター（産業界、行政界、学术界、NPOなど）がセッションの登壇者として参画するようにしてください。行政関係者のみや学术界のみなど、単独のセクターの方のみが登壇するセッションは受けません。

- 実施場所 TETTO : ホールA・ホールB、PIT : 多目的集会室、ホテルサンルート : 鳳凰
- 実施時間 1小間90分
- 収容人数 80名~800名 *希望会場を申込用紙に記載ください。
- 無償提供 音響、プロジェクター、スクリーン、司会者台、演台、机、イス



2 : ワークショップ (30枠程度)

来場者を参加させるワークショップタイプ

- 実施場所 TETTO : スタジオA・会議室2、PIT : 会議室1・会議室2
- 実施時間 1小間90分
- 参加人数 20~30名程度
- 無償提供 音響、プロジェクター、スクリーン、司会者台、演台、机、イス

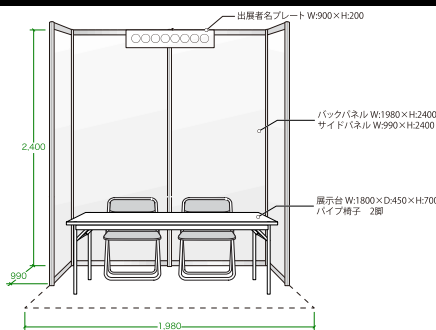


3 : プレゼンブース (50枠程度)

出展者が展示パネル前に常駐して来場者に説明するタイプ

- 小間サイズ 幅1980mm (仮) × 奥990mm × 高2400mm (コの字型)

- 無償提供 出展名プレート、展示台、イス2脚
パネル貼付用粘着テープまたはチェーンフック
- 備考 電源の使用をご希望の場合、申込書に使用電力量をご記入ください。ただしご希望に添えない場合がありますことをご了承願います。



4 : 屋外展示 (25枠程度)

屋外テントによる展示や車両展示タイプ

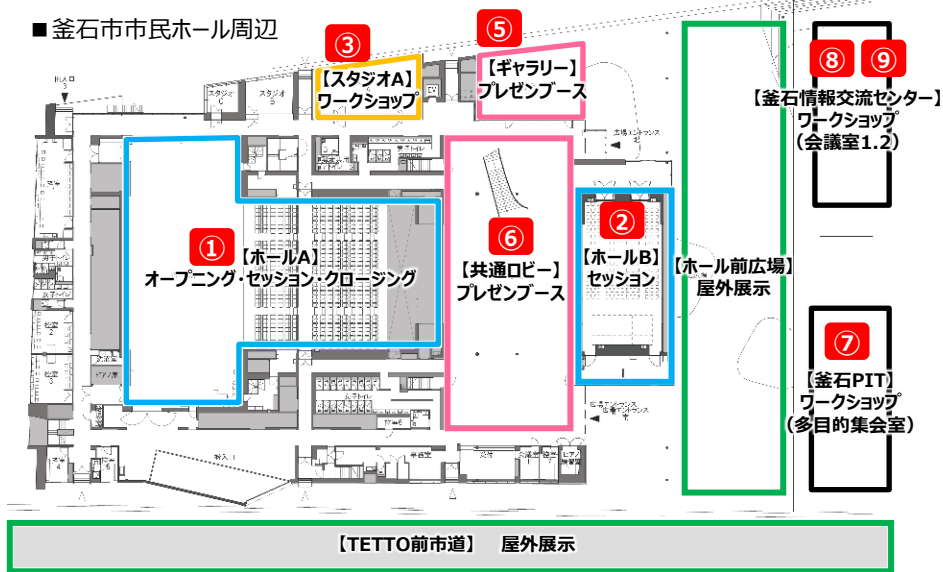
- 実施場所 TETTO前広場・市道、イオンタウン第3駐車場
- テントサイズ 幅5.4m×奥3.6m (仮)
- 車両スペース 最大10m程度対応 (仮)
- 無償提供 出展名プレート、テント、横幕、長机2本、イス4脚
- 備考 電源の使用をご希望の場合、申込書に使用電力量をご記入ください。ただしご希望に添えない場合がありますことをご了承願います。



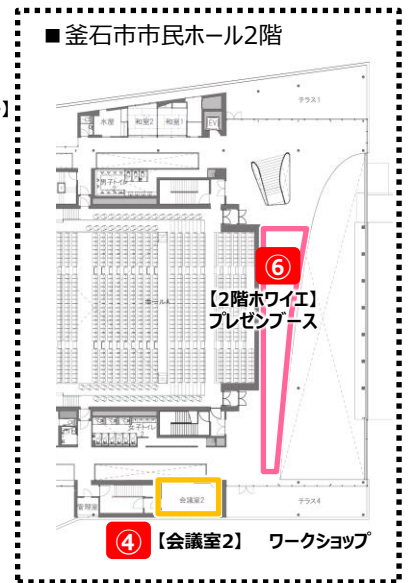
【タイムスケジュール案】

会場	座席数	11月6日(土)				11月7日(日)			
		10:30~12:00	13:00~14:00	14:30~16:00	16:30~18:00	10:00~11:30	12:30~14:00	14:30~15:30	
釜石市民ホール TETTO	①ホールA	約800席		オープニング	テーマセッション	テーマセッション	テーマセッション	テーマセッション	クロージング
	②ホールB	約190席	テーマセッション		テーマセッション	テーマセッション	テーマセッション	テーマセッション	
	③スタジオA		ワークショップ		ワークショップ	ワークショップ	ワークショップ	ワークショップ	
			ワークショップ		ワークショップ	ワークショップ	ワークショップ	ワークショップ	
			ワークショップ		ワークショップ	ワークショップ	ワークショップ	ワークショップ	
	④会議室2		ワークショップ		ワークショップ	ワークショップ	ワークショップ	ワークショップ	
⑤ギャラリー		プレゼンブース		プレゼンブース		プレゼンブース			
⑥共通ロビー等		プレゼンブース		プレゼンブース		プレゼンブース			
釜石PIT 交流センター	⑦多目的集会室	約150席	テーマセッション		テーマセッション	テーマセッション	テーマセッション	テーマセッション	
	⑧会議室1		ワークショップ		ワークショップ	ワークショップ	ワークショップ	ワークショップ	
	⑨会議室2		ワークショップ		ワークショップ	ワークショップ	ワークショップ	ワークショップ	
サルート ホテル	⑩鳳凰(西)	約80席	テーマセッション		テーマセッション	テーマセッション	テーマセッション	テーマセッション	
	⑪鳳凰(東)	約110席	テーマセッション		テーマセッション	テーマセッション	テーマセッション	テーマセッション	
⑫イオンタウン釜石 第3駐車場			テントブース・屋外展示				テントブース・屋外展示		

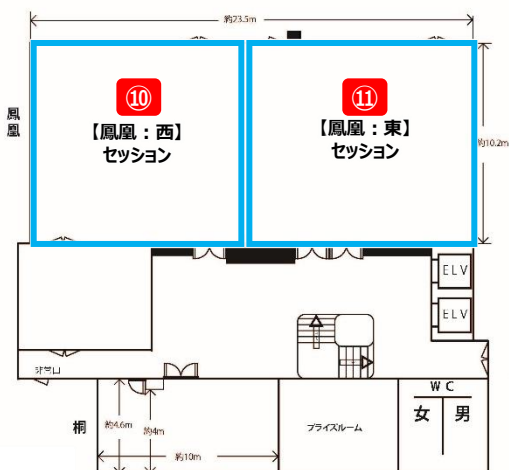
■釜石市市民ホール周辺



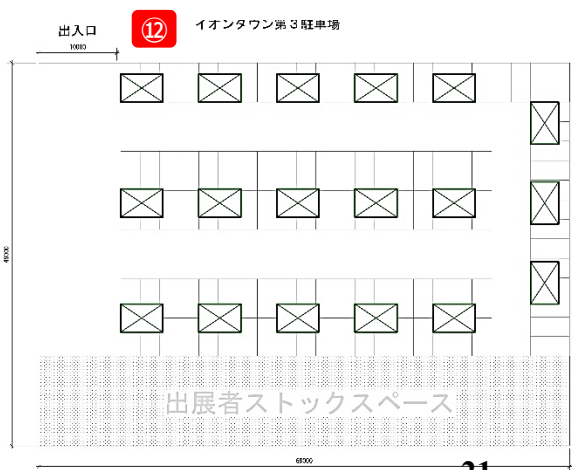
■釜石市市民ホール2階



■サルート釜石2階



■イオンタウン釜石 第3駐車場



(1) 出展タイプ

「セッション」「ワークショップ」「プレゼンブース」「屋外展示」

の中からご希望のタイプをお申し込みください。

申込数は最大各出展タイプごとに1つ、合計2つまでとさせていただきます。

(2) 出展内容

この大会は「自助・共助」、「多様な主体の連携」及び「地域における防災力の向上」を促進するため、国民の防災意識の向上、災害に関する知識や経験等の共有を図ることを趣旨としています。

出展内容は、大会趣旨と大会テーマ選定理由（P1）に沿ったものに限ります。

(3) 出展資格

「防災推進国民大会2021」の趣旨に賛同する、防災等に関する活動や取組をされている団体（公益法人、学校、大学、企業、NPO、各種サークル等）

(4) 出展費用

出展パターン（P3）ごとに記述した、出展料と無償提供品（P4）は無料です。左記以外の費用は出展団体にてご負担ください。（電気代については使用容量により別途ご請求する場合があります。）

また出展パターン2と3（P3）の配信に係る一切の費用は出展者様のご負担でお願いします。

(5) 申込方法

本書に記載している内容をご承諾の上、別添申込書に必要事項を記入し、7月9日(金)から8月6日(金)12時までに**運営事務局**へ提出してください。

(6) 出展審査基準

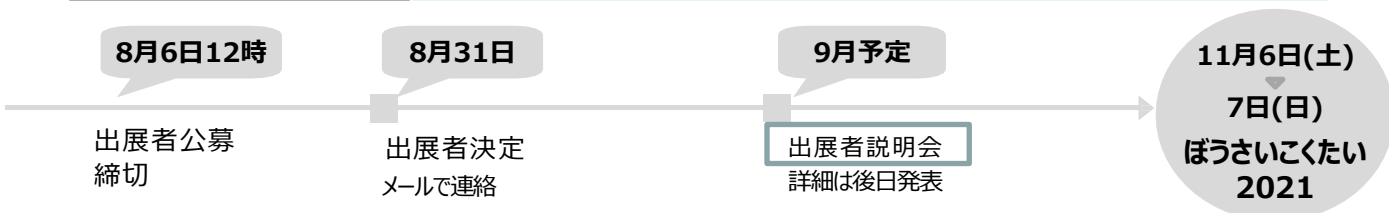
1. 大会趣旨（P1）に沿ったメッセージがあること
 2. 集客の目途が明確であること
 3. 特定の商品やサービスの販売を目的としていないこと
- 以上の基準を満たすことを、審査委員会で確認いたします。

(7) 出展会場・実施時間

出展会場と実施時間は、大会事務局にて決定いたします。

(8) スケジュール

申込締切	2021年8月6日（金）12時までに運営事務局必着
出展決定連絡	2021年8月31日（火）17時までにメール連絡



問合わせ先

大会主旨に関するお問い合わせ

【大会事務局】

内閣府 政策統括官（防災担当）付
担当：長谷川、甲（かぶと）

メール：bousai18@cao.go.jp

申込書提出・出展に関するお問い合わせ

【ぼうさいこくたい2021運営事務局】

担当：矢口、平田

メール：bousaikokutai@toiawase.info
電話：03-5545-5774（平日10:00～18:00）

注意要項

- 企画内容が防災推進国民大会の開催趣旨・公序良俗・各種法令・施設管理者の定める規則に 則ったもののみ応募可能です。主催者が適当でないと判断したものについては、出展をお断りする場合があります。
- 申込者の希望はできる限り尊重しますが、希望に添えない場合もありますことをご了承ください。
- 出展者による物販は禁止とします。特定の商品やサービスを販売することを目的としないこと。
- 屋内での火気の使用は禁止とします。
- 主催者は会場全般の管理について最大限の注意を払いますが、出展物の管理は各自責任を持つものとし、盗難、紛失、火災、損傷、その他不可抗力による損害については、責任は負わないものとします。
- 主催者は、天災、悪天候、その他不可抗力によって、本大会の開催を中止する場合があります。その場合、主催者はこれによって生じる損害、費用の増加、その他出展者に生じた不利益な事態について、責任を負わないものとします。また、借用備品代等の費用の返却はいたしません。
- 出展物の実演によって、他の出展者及び周辺住民等から苦情が発生した場合や、会場の保全・秩序の維持や来場者の安全に支障があると認められた場合、主催者は出展者に、実演の中止もしくは制限を求める場合があります。これにより発生した費用の補償はいたしません。
- その他出展規定につきましては、運営事務局までお問い合わせください。

FAQ

Q.同一の出展タイプで2つ申込することはできますか？

A. ワークショップ、セッション、プレゼンブースなど、各出展タイプにつき1件のお申し込みでお願いします。複数の出展タイプでの出展をご希望であれば出展申込みをそれぞれ作成し、ご提出をお願いします。なお、提出は合計2件までに限定させていただきます。

Q. プレゼンブースや屋外展示の複数使用は可能ですか？

A. 限られたスペースであるため、原則1ブースでお願いします。なお、スペースに余裕があれば検討の余地があるので、必要なブース数・スペースの大きさなどを申込用紙の「質問事項」欄にご記載ください。

Q. セッションの枠（日付、時間）の希望はできますか？

A. 日付、時間等については全体のバランスを見て実行委員会にて指定いたします。

Q. 多数応募の場合の選定基準について教えてください。

A. 審査基準はP.6（6）に記載の通りとなります。

Q. ワークショップやセッションの時間90分は、会場レイアウトなどの準備を含めての時間ですか。

A. 会場レイアウトなどの準備は90分には含まれません。準備は各セッションやワークショップ間の30分間にしていたくことを想定しています。出展者はセッション等の後、現状復帰をした状態で、次の団体に明け渡すようにして頂くようお願いいたします。

Q. プレゼンブースなどは2日間通しの実施ですか。

A. プレゼンブース、テントブース、屋外展示については2日間通しでの出展をお願いします。

Q. プレゼンブースと屋外展示のオンライン配信はどのように掲載されるのでしょうか？

A. 出展者様が用意する動画、画像、活動紹介文等を大会ホームページで紹介します。なお動画は出展者様にYouTubeへアップロードしていただき、事務局が大会ホームページにリンクを設置します。

防災推進国民大会事務局は、ご登録いただいた個人情報を 下記のとおり適正にお取り扱いいたします。

(1) 個人情報利用目的

ご登録いただいた個人情報は、防災推進国民大会への出展申込、各種運營業務、出展者への緊急時のご連絡、内閣府からのお知らせ（大会後も含む）アンケート調査や報告書作成に必要な場合に使用します。
なお、これらの範囲を超えて使用することはありません。

(2) 個人情報の共同利用

お預かりした個人情報は、上記の利用目的のため大会事務局で利用させていただきます。
また、一部の個人情報を上記の利用目的のため外部業者及び協力会社に委託することがありますが、その場合も適切な管理を行うように業務委託先の監督を行います。

(3) 個人情報の第三者提供

法令の規定等や来場者及び公衆の生命、健康、財産などの重大な利益を保護する場合を除いては、お預かりした個人情報を第三者に提供することはありません。

(4) 個人情報の開示、訂正、抹消等

お預かりした個人情報は、本人または本人の認めた代理人からの請求であり、かつ正当な理由であることを確認できた場合に限り所定の手続きに基づき照会、訂正、削除を行います。ただし、運営上最低限必要な個人情報は削除できません。

(5) 個人情報のお預かりについての同意、不同意

本説明についてご同意いただく場合に限り、出展申込いただくことができます。
ご同意いただけない場合は、出展申込を行っていただくことができません。

(6) 個人情報に関するお取り扱いの本人同意

(5)の「本説明についてご同意いただく場合」には、本人の認めた代理人が登録する、本人の各種個人情報に関して、上記(1)～(5)の項目が本人へ通知または公表されていることを含みます。

●大会中の撮影（ビデオ、写真）については下記のルールに従ってください。

- ①肖像権や個人情報の取り扱いに注意してください。
 - 「勝手に撮影されない権利」
 - 「勝手に公開されない権利」
 - 「有名人などが自分の画像を勝手に商業利用されない権利」
- ②被写体に人物が入る場合は、対象者に撮影許可を取ってください。
特に、未成年者の場合は保護者の承諾が必要です。
- ③撮影する場合は、各出展者毎に定めた腕章等の目印を必ず着用してください。